



百里平和公園に「憲法9条の碑」建立!

別刷り

多くの人々の思いを結集して 稲荷神社脇に!

全国 **34** 番目

茨城で **4** 番目!



2月11日(日)、百里基地のど真ん中の百里平和公園で、恒例の初午祭が、開催されました。春の日差しを思わせるような暖かな日となったこの日、紅梅が咲く百里平和公園には約550人が参加。東京平和委員会の方々なども来場し、大きな賑わいになりました。

昨年(2023年)、「百里平和公園9条の碑建立実行委員会」が結成されました。会に結集した団体の方々の尽力により、短期間で多くの賛助金が寄せられ、百里平和

公園の稲荷神社脇に、「9条の碑」を建立しました。初午祭と合わせて、「9条の碑」除幕式も挙行されました。

百里平和公園の「9条の碑」は、全国では34番目、茨城では4番目です。一言添えますと、先の3つはすべて「個人の思いで建立」されました。百里平和公園に建立された「憲法9条の碑」は、多く人たちの「賛助金」の結集で建立しました。多くの方々の思いのこもった「憲法9条の碑」です。皆さんと喜び合いたいと思います。

メッセージ 百里初午祭・9条の碑除幕式へ

百里弁護団 内藤 功



初午祭・9条の碑除幕式の準備、設営に当たられた地元の皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

ことは、アジア太平洋戦争が終結して79年です。79年前の1945年8月15日の正午、戦争終結を告げる昭和天皇のラジオ放送をききました。当時、ここ百里基地は、日本海軍航空隊の基地でしたが、この放送の数時間前、8機の特攻機が出撃し、16人の若者がついに帰りませんでした。

日本国憲法9条のもと、もう2度と戦争はしない、軍隊も基地もいらない、滑走路や軍事施設は全部こわして農地に変えろ、食料をつくれと、県内外・国外からの開拓民の方々が農業に苦勞されてきました。

ところが、1954年、航空自衛隊が米空軍指導のもと新設され、1955年以降、百里を再び戦闘機基地にするための農地買収工作が始まりました。しかし、基地反対の方々は、「カネをいくらつまれたって戦争のためには土地は絶対売られません。平和のためなら、タダでもあげます」という気概

で、反対同盟に団結してたたかってきました。百里弁護団とともに、「自衛隊は憲法違反」と正面から主張して、最高裁まで裁判闘争を31年間たたかいました。

この力におそれをなしたか。基地のど真ん中にある、ここ平和公園、平和稲荷の土地を避けて、誘導路を作らざるをえなくなりました。この百里のたたかひの歴史を、次の世代にしっかりと伝えていきたいと思います。射撃場山から基地を見下ろす「自衛隊は憲法違反」の大看板。そして本日建立された「9条の碑」は、未来永劫に、平和を守る礎になると確信します。

いま岸田自民党政権は、「裏金事件」で国民の激しい怒りにあいながら、依然として軍備拡大の暴走を続けています。新型の長距離ミサイルを戦闘機に搭載装備するなど、外国を攻撃する能力の強化を進めています。このような侵略戦争のために、航空自衛隊員の尊い生命を犠牲にはなりません。

本日、平和への決意を固め、大いに交流し、団結を固める日となるように願って、ごあいさつと致します。

2024年2月11日

ご挨拶 憲法9条の碑の除幕に当たって

百里・憲法9条の碑建立実行委員会委員長 谷萩 陽一



百里・憲法9条の碑の除幕に当たって、建立実行委員会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

この百里平和公園に憲法9条の碑を建てようという話の直接の始まりは、2021年の憲法記念日にジャーナリストの伊藤千尋さんが水戸で講演をした際に、憲法9条の碑が全国各地にある、海外にもあるという話をされたのを伊達郷右衛門さんが聞いて、この百里に立てるという発想を得たところからでした。たまたま反対同盟の梅澤さんのご親戚の石屋さんがそのために使える石を提供してくれるという話があり、百里に関係の深い5つの団体が呼びかけて実行委員会に加入する団体を募り、募金を集めて建立に至ったものです。実行委員会には31団体が参加しています。

昨日までに県内外の82団体、534名の方々から募金が寄せられ、今日の建立に至りました。石材の提供をいただいた、坂入としお様、工事の施工をして頂いたおおよしたかし様、ありがとうございます。そのほか、建立に関係された全ての皆様、そして募金をお寄せいただいた団体・個人の方々に心から感謝申し上げます。

伊藤千尋さんによれば、今、全国に33の憲法9条の碑があるそうですから、この碑は34個目となります。しかし、自衛隊の基地のど真ん中にできるというのは全国初めてということです。

この碑には、碑文にもあるように、百里の農民とこれを支援する闘いを広く市民に知ってもらい、後世に伝えるという意味が込められています。この百里平和公園の土地自体、「戦争のためには土地は売らない」とたたかってきた

反対同盟の農民と、これを支援する百里基地反対連絡協議会をはじめとする運動の力で守られてきた土地です。こうして、今や百里基地は、「自衛隊は憲法違反」という大看板に見下ろされ、憲法の条文を刻んだ石碑によって誘導路がくの字に曲げられているという世界にも例のない基地になったのです。

今、ウクライナで、ガザ地区で、この瞬間にも、多くの命が戦争によって奪われ続けています。国際法に違反した侵略行為やジェノサイドは強く糾弾されなければなりません。国内では、安保法制の強行によって集団的自衛権の行使が制度として認められたばかりか、安保3文書によって長射程ミサイルなど反撃能力・敵基地攻撃能力の保有が進められています。軍事費を5年間で2倍にするという岸田内閣の軍拡路線は、安全保障の名の下に国民生活を犠牲にするものです。

しかし、こんな時代だからこそ、いかなる国際紛争も武力による解決をしてはならないという憲法前文と9条の精神が、現実の国際政治を動かす力を発揮することを強く期待したいと思います。

この先、さまざまな困難や紆余曲折があっても、この日本が、いつかは、9条が理想とした、戦争も軍隊もない国となる日がくることを信じたいと思います。それは募金を寄せてくださった多くの方々との共通の思いであると思います。私たちに代わって、その日をしっかりと見届けてくれることを、この百里・憲法9条の碑に託しまして、除幕にあたっての挨拶とします。ありがとうございます。

2024年2月11日

メッセージ 「憲法9条の碑」の建立に当たって

伊藤 千尋



憲法9条を目に見える形にしよう！

現在の平和を確固たるものとし、未来の平和の構築のために、と、9条の記念碑を建てる運動が全国に広がっています。

このたび百里基地に9条の碑が完成しました。

昨年12月の奄美大島に続き、全国で34番目の9条の碑です。

戦争の象徴たる基地の真ん中に平和の象徴たる9条の記念碑がそびえるとは、すこぶる痛快ではありませんか。

皆さんの努力に、大きな敬意と心からのお祝いを申し上げます。

このところウクライナの戦争、パレスチナ紛争と相次ぐ争いで多くの人々の命が失われています。

憎しみが憎しみを呼ぶ戦争は、お互いを破滅させます。

憎しみの連鎖を断ち切り、世界を平和にするにはどうしたらいいか。

その答えを私たちは日本国憲法9条と前文として世界に示しました。

完成した碑を活かしつつ、今後とも誇りを持って9条の運動を繰り広げましょう。

2024年2月11日